

単位数	2	学科(型) 学年	建設工学科 1年	教科書 副教材等	精選工業情報数理(実教出版)
学習目標		1 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 2 情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得する。 3 情報及び情報手段を活用する能力と態度を身に付ける。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	＜計算技術検定＞ 基本操作とモードについて マニュアル計算 計算技術検定試験練習 ・四則計算・関数計算・実務計算 ＜産業社会と情報技術＞ 情報と生活、情報化社会のモラルと管理			・関数電卓の基本操作を学習する。 ・四則・関数・実務計算を時間内に正確に解けるようになる。 ・知的財産権、プライバシーの保護、ネチケットなど自分と他人の権利を守ることやモラルの重要性を理解する。	
2	＜ハードウェア＞ 処理装置と周辺装置 データの表し方 論理回路の基礎 ＜プログラミング＞ プログラム言語 アルゴリズムと流れ図 順次・選択・繰返し処理 プログラミング応用			・コンピュータの構成について理解する。 ・コンピュータで用いるデータの表し方について理解する。 ・2値信号で演算や制御を行う論理回路の基本について理解する。 ・プログラム言語の種類について理解する。 ・問題解決の手段としてのアルゴリズムやプログラムの作成の意味を理解する。 ・順次・選択・繰返しの三つの基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義について理解する。 ・データの読取り・配列・文字データ等について理解する。	
3	＜ネットワーク＞ コンピュータネットワーク等 ＜コンピュータによる制御＞ コンピュータ制御、組込み技術			・身近なコンピュータネットワーク等を理解する。 ・コンピュータ制御の考え方や、身の回りの組込み技術について理解する。	
評価の観点		内 容			
知識・技術		情報技術に関する基礎的な知識を持ち、社会における情報化の進展と情報の意義や役割、情報化社会に生きる技術者としての使命を理解している。			
思考・判断・表現		諸問題の解決を目指し自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身に付けており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。			
主体的に学習に取り組む態度		情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組みとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身に付けている。			
評価方法	「知識・技術」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」の観点と、年間5回の定期考査の結果や小テストをもとに学習内容の理解度・定着度などを踏まえて、総合的に評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 授業では、ノートをとるだけでなく説明をよく聞きくこと。 ○ その日の授業で分からなかったことは、その日のうちに質問に来てください。 ○ 必ずその日の授業の復習を行いましょう。 ○ 全員情報技術検定を受検し、学習の成果をもとに上位の資格取得にも積極的に取り組みましょう。					